

町村合併が成立した昭和30年から昭和48年の石油ショックまで、日本経済は世界に類を見ない高度経済成長を遂げました。寄居町でも産業構造が大きく変化し、約20年間で第一次産業人口は、二十一年間に63.6パーセントから27.1パーセントに減少し、第二次・第三次産業人口の割合が約二倍に増加しました。これは、青年層の農業離れ、兼業農家の増加、町外への就業者の増加といった形で表れました。



QRコードにアクセスしてください。
動画をご覧いただけます。
<写真で振り返る昭和30年代~50年代>

●町章審査委員会

昭和31年11月12日に「町章審査委員会」が開催され、応募作品176点の中から、現在の町章の基となる町章が決定しました。町章は、寄居町の「寄」とよりの「い」を図案化したもので、円満と協調と発展を象徴しています。



当時の町章

昭和57年に、線の太さなどが細かく定められ、現在の町章になりました。



荒川での水遊び (昭和40年代)



A



寄居駅南口道路 (昭和40年代)



C



玉淀ライン舟下り (昭和30年代)



B



1974	1973	1971	1970	1968	1967	1966	1964	1962	1961	1960	1959	1957	1956	1955
昭和49年	昭和48年	昭和46年	昭和45年	昭和43年	昭和42年	昭和41年	昭和39年	昭和37年	昭和36年	昭和35年	昭和34年	昭和32年	昭和31年	昭和30年
・農免道路（鉢形―男衾）開通	・寄居警察署新庁舎完成 ・第1回産業祭開催	・学校給食センター完成 ・国道140号寄居バイパス一部開通	・桜沢小学校新校舎完成・移転 ・寄居簡易保険保養センター完成	・城南簡易水道給水開始（折原・鉢形）	・議会議員選挙、全町一区の大選挙区制で実施 ・寄居電報電話局新庁舎完成 ・第22回国民体育大会（卓球）を開催	・寄居町営体育館完成	・玉淀ダム完成	・埼玉県立寄居高等学校開校	・寄居町上水道給水開始（寄居・末野・桜沢）	・異常湧水で自衛隊の給水車出動	・折原中学校と鉢形中学校を統合し、城南中学校開校 ・天皇・皇后両陛下を迎えて、金尾・鉢形で植樹祭開催 ・風布に公衆電話開通	・新正喜橋開通	・西古里・鷹ノ巣の一部が小川町に編入 ・第1回合併記念駅伝競走実施	・寄居町・折原村・用土村・鉢形村・男衾村が合併・新寄居町の誕生 ・円良田湖（ダム）完成

C

B

A